



## ごあいさつ

会長 宿利 三知恵

今年のお城まつりは残念ながら中止となり、寂しい新年度の幕開けとなりました。国内に新型コロナウイルスが感染拡大し奈良県でも緊急事態宣言が発令され、休業、休校、不要不急の外出の自粛など私たちの生活に支障をきたすことばかりです。この未曾有のウイルスによって恐怖、懐疑、経済の低迷、差別などが生じ暗く重い状況ではありますが、そんな中でも小さな支援の輪が広がってきています。利己心を抑え個々が助け合い、支え合う気持ちを持って行動し、この危機的境地を乗り越えていかねばならないと思います。

さて、このたび大和郡山市肢体不自由児者父母の会は、初めて広報誌を発行することにいたしました。そして広報誌に親しみを込めて「ループ」(LOOP)と名付けました。和訳すると「輪」や「環」など円形状のものを意味します。つながること、互いに支え合うことを願って、会員同士で考えました。私たちの会は市内在住の肢体不自由児者の親が手を取り合い、昭和44年(1969年)に結成し、福祉向上や本人の自立を目指し50年以上活動を続けてまいりました。市民に向けた啓発として、以前は映画上映会やノート販売を行っていました。現在は親子まつりへの参加、クリスマス会やバス旅行を通しての親子の交流、施設見学や勉強会など福祉の研修にも取り組んでいます。また行政や福祉・教育関係の方々、他の障害者団体とも連携して、大和郡山市の障害者福祉の向上を図るための活動も積極的に行っています。私たちの会は、県においては市町が結集した連合会があり、全国においても都道府県が結集し、県や国に意見や要望を提言しています。毎年このような活動の報告をリーフレットにして配っておりましたが、多くの皆様に私たちの会や子どもたちのことをもっと知ってもらいたい、伝えたいという思いが芽生え、広報誌の発行に至った次第です。

話は戻りますが、新型コロナウイルスの感染防止策として、今後は電子マネー、テレワークやオンライン上でのやり取りなどが広まり、人と接しなくても日常生活が成立するようになるかもしれません。しかし私たち子どもたちにとって、やはり人とのふれあいは大切です。私たち親も実際に顔を向き合わせて、互いに心の内を言い合える関係づくりを大切にしたい、私たちの会もそうありたいと思います。

新型コロナウイルスが一日も早く収束に向かい、心穏やかな日常生活に戻りますよう切に願っています。今年度もどうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### 令和元年度はこんな活動をしました

<総会>…5/17(金)

午後 懇談会 「住み慣れた地域で安心して暮らすには～会員の課題を共有しよう～」

<定例会>…月に1回開催し、情報交換や話し合いをしています。

## <施設見学>…社会福祉法人嘉耶の会 はるかぜ 8/30(金)

大和郡山市に多機能型事業所が新しくできたという嬉しいニュースを聞きつけ、見学に行きました。はるかぜは、就労継続支援A型事業、就労移行支援事業、生活介護事業、短期入所があります。近くに商業施設もあり、隣には畑やビニールハウス、小学校からは子ども達の声も聞こえてくるという、とても良い環境の中がありました。何よりもクリニックから、3分以内に看護師さんが来てくださるそうです。施設内は、新しく綺麗で、活動する場所は日当たりもよく、利用者さんの表情もとても良かったです。気分がのらなくても無理強いすることなく、側で、時には遠くから見守ってくださるスタッフさん、ショートステイの各部屋も明るく清潔でした。障害のあるなしに関係なく、老いも若いも関係なく共に一緒に過ごせる町づくりを目指すという施設長さんのお言葉がとても心に残りました。



## <親子まつり>に参加…11/3(日・祝)

平成30年度開催した父母の会 設立50周年式典や記念誌で、今までの活動を振り返る中で、平成14年まで親子まつりに参加していましたが、暫く休止していることを知った若い世代の会員たちの呼びかけによって、平成30年度より再び参加するようになりました。

当日はお天気に恵まれ、たくさんの子どもが遊びに来てくれました。あての点数によって、お菓子や景品をもらえるということで、真剣に投げる子どもや景品をどれにするか悩む子ども！たくさん景品が欲しい！！と、何度もチャレンジしてくれる子ども！子どもが投げているのを、真剣にサポートするお父さんお母さん！みんな素敵な笑顔で、参加した会員も楽しい一日を過ごしました。手作りの的は、ハブニングもあったけど…会員みんなで協力し楽しい啓発活動になりました。



## <クリスマス会>…12/14(土) 於片桐地区公民館

みんな楽しみのクリスマス会！

毎年、市長はじめ行政の方々や奈良養護学校の校長先生、お世話になっている施設の方々が参加して下さるクリスマス会。恒例の「あわてんぼうのサンタクロース」に参加者の皆さんと歌った後は、サンタクロースに扮する市長さんから一人一人にプレゼントを貰いました。子ども達は名前を呼ばれると笑顔になります。

そして今回は、養護学校の先生たちで結成されている「ほんまにもお～校務店」の<クリスマスソング>いろいろな楽しい曲の演奏に合わせてダンスをする子もいました。昼食は、美味しいお弁当とケーキを食べ、午後からは会員親娘の<紙芝居>に癒され、菅原園の職員さんのミュージカル風替え歌<アナと雪の女王>で大笑いしました。そして最後は親子まつりで好評だった手作りの<あてゲーム>をし、子ども達・親・ヘルパーさん参加者全員で一等賞のお菓子を狙って、一生懸命に球を投げました。



＜大和郡山市自立支援協議会＞に参加し、会員のニーズを伝えると共に、部会全体で課題の共有と課題解消に向けた話し合いをしています。(月1回)

昨年度は、以下の3部会の活動の他、2か月に1回運営会議(市厚生福祉課・3支援センター・3部会の部会長副部会長出席)を開催していました。「地域生活支援拠点の整備」について、大和郡山市は面的整備を目指しているため、9月にシンポジウムを開催し、「大和郡山市の福祉ネットワーク構築に向けて」高槻市の取り組みを聴きました。11月には、先駆的な総合施設の視察として、西宮市社会福祉協議会「地域共生館ふれぼの」を見学しました。福祉ゾーン(旧郡山保健所跡地周辺)の構想についてニーズや意見を集約して、市の会議において提言しました。令和2年2月に全体会を開催しネットワーク構築の説明とグループ討議を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染を防止するため残念ながら中止となりました。

今後も「大和郡山市サポートネットつなぐ」のシステム構築に取り組んでいきますので、活動内容を発信していきたいと思います。

### 暮らし部会

- ・「緊急時」「住居の確保」に分別話し合い
- ・「住居の確保」市住宅課、市民安全課、地域包括支援センター、県障害福祉課・住まいまちづくり課に聞き取り調査
- ・「緊急時」市内短期入所事業所と緊急時ステイ事業所8か所、3か所の医療型短期入所、市外の福祉事業所に聞き取り調査
- ・事業所交流会の実施

### 教育部会

- ・サポートブック、サポートファイルの啓発
- ・こおりやま体操教室・動作法教室の開催(概ね毎月1回実施)
- ・ぼぶらサークル座談会5回実施
- ・放課後等デイサービスや児童発達支援の事業所交流会の立ち上げ
- ・市教委特別支援研修部との共催特別支援教育講演会の開催

### 就労部会

- ・事業所連絡会の開催
- ・職員交換研修(～7月終了)
- ・企業啓発ワーキング会議(企業への雇用促進・障害理解啓発)の開催
- ・書店商業組合の作業(ブックコート)の委託について
- ・ほっとサロンきんぎょ(毎月第4木曜)の開催

## ご存知ですか？

### 「サポートブック」「サポートファイル」「受診のためのサポートシート」を

平成19年2月、大和郡山市地域自立支援協議会が発足しました。障害者団体、各関係機関、福祉サービス事業所など様々な立場の方々が増加し、市内に暮らす障害のある人がいかに地域で心豊かに生活できるかを協議しています。現在は、暮らし、就労、教育の3つの部会があります。そして多くの大和郡山市独自のシステムやツールが生まれました。



ここで、その中から今回は3つを紹介します。まず「サポートブック」は、“支援や配慮の必要な人”が、その種別にかかわらず、初めて接する人(例えば新しい担任の先生や支援者など)に、本人の特性や接し方について知ってもらうための情報を書いておくノートです。緊急時・災害時でも役立ち、はがきサイズで持ち運びに便利です。「サポートファイル」は、保健、福祉、医療の利用状況や発達面に関する診断・検査の記録を記入していく事で、学校、相談機関、サービス事業所、行政、病院などの関係機関が正確に情報を取得し、切れ目のない適切な支援やサービスを提供するためのファイルです。生まれてから成人になるまで利用できるツールです。どちらも、市役所厚生福祉課で、配布しています。また市役所ホームページからもダウンロードできますので、検索してみてください。(教育部会で取り組み)最後に「受診のためのサポートシート」は、初めて受診する障害児者が、スムーズに受診できるよう特性を書き入れるシートです。障害者の特性の理解を目的として「安心して医療を受けるために」という冊子を作成し、各医療機関に



配布しました。医療機関に啓発活動中に、さらに個々の情報を細かに伝えることができるこのサポートシートができました。こちらも、市役所ホームページからダウンロードできます。(暮らし部会で取り組み)

## <大和郡山市心身障害者児連絡協議会>の活動

肢体不自由・知的・身体・精神・聴覚・視覚の障がい者6団体がひとつになって、納涼大会(工事のため中止)、ふれあい祭り(新型コロナウイルスの感染予防のため中止)を開催しています。

平成29年度より、防災について取り組んでおり、市民安全課との懇談や福祉事業所に防災アンケートを実施しました。昨年度は地域の防災訓練に以下の通り参加しました。

11月24日(日)治道地区の防災訓練に参加しました。午前9時に市内全域に震度7、家屋倒壊や火災が発生し避難勧告が発令された想定で行われました。私たちの会から2家族(親子4人)が参加しました。

治道小学校の運動場に集合し体育館に移動しましたが、まず階段があり車いすが入れませんでした。周りの助けが必要です。館内に入り、すぐ簡易の敷きマットと枕に空気を入れ、運動場に設置した福祉用トイレを見学したあと、給水車から水を受け取りアルファ米の準備に取り掛かりました。その間消防署員より救命救急訓練や障がいのある人への配慮など聞き取りをしてくださいました。アルファ米の試食を終え訓練終了しました。

もし、自宅が倒壊した場合は最寄りの避難所に行かねばなりません。福祉避難所はその数日後の移動となり、日頃から備蓄はもちろん当事者にも防災訓練は意義があると思えました。お住まいの自治会の防災訓練に参加し配慮が必要な事柄を伝えておくことは大切だと感じました。



## <奈良県肢体不自由児者父母の会連合会>に参加

- 総会…6/6(木) 9名出席  
午後の講演 「わたしとあなたをつつむもの」 講師:佐々木慈瞳様 音羽山観音寺副住職
- 第54回近畿肢体不自由児者福祉大会奈良大会…7/13(土) 11名出席  
テーマ:より豊かに生きることができる共生社会の実現をめざして  
切れ目のない障害者支援の充実と社会への障害者理解の促進 ~福祉と医療の現状と課題~
- チャリティー墨書展…9/14(土)~15(日) 12名参加
- 研修部会…6/27(木)「やさしくなかに」上映 11/6(水)まほろばあいサポーター研修
- 本人部会…8/3(土)カラオケを楽しむ会 5名参加  
8/24(土)さわやかレクリエーション ポッチャ 7名参加

### 障害を知り、共に生きる ~まず、知ることからはじめましょう~

#### まほろば”あいサポート運動”について

奈良県で平成25年8月から取り組んでいる運動です。障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい共生社会を実現するため、障害の内容・特性を知り、障害のある方が困っていることや配慮の仕方やちょっとした手助けの方法などを理解し、実践する「あいサポーター」を養成する県民運動です。新たに平成30年度に奈良県版DVDが完成しました。

私たちの会でもこのDVDを視聴しサポーター研修を受講する予定です。将来は多くの市民にメッセージを届ける役目を果たしたいと思えます。市内の学校PTAや職場でもぜひ「あいサポーター」の養成研修に力を注いでいただけたらと切に思っています。



#### 《編集後記》

宿利会長の思い付きから始まった広報誌作成!!「タイトルは何にする?」「レイアウトはどうする?」会員一丸となって考えました。タイトル『ループ』は河野知洋君(本人)が書いてくれました。年に一回の発行ですが、会の活動・会員の想い・本人の作品等も掲載しようと思っています。来年度の広報誌も楽しみにしてください。

お問い合わせ 大和郡山市肢体不自由児者父母の会事務局 0743-59-2037(宿利)